

平成26年7月11日

No. 6

# 日立理科クラブ通信



日立理科クラブ

## 授業支援・助川小学校

### 総合的な学習の時間・4年「校庭の樹木」



7月9日(水) 助川小4年

助川小学校の4年生が、総合的な学習の時間を活用して環境学習に取り組んでいます。今回、日立理科クラブでは、環境問題をテーマにした授業支援をおこないました。4年生の児童たちは、身近な校庭の樹木を調べることにより、興味のある樹木を通して環境の大切さを知り、自ら主体的に学ぶことがねらいになっています。助川小学校の校庭にはたくさんの桜の木があります。また、日立には、多くの場所に桜の木がたくさん見られます。児童たちは、日立で見られる多くの桜の木が、日立鉱山の煙害対策として植林されたことを知って驚いていました。桜

の木(オオシマザクラ)は、煙害に強い樹木の一つです。今回は、助川小学校の校庭にあるたくさんの樹木をスライドにしたものを投影して、児童たちにその特長を示したり、地球の動植物の進化や誕生の歴史を示したりして、生命の神秘や地球上の環境の変遷について説明しました。地球の誕生から現在までの時間を1年間にたとえると、人類の歴史はとても短いことや、これからの地球の未来について、学者が予想していることを事例としてお話ししました。児童たちは関心を示しながら、地球の未来の姿に驚いていました。



今回の授業支援は、助川小の理科室のおじさん(関幸一)と協力して進めましたが、あいにくの雨のため、実際の樹木を見ながら、説明できなかつたことが残念です。授業終了後に、「ハリエンジュ(ニセアカシア)は、どこにあるんですか。ローリエはどの木ですか。」と、多くの質問が出ました。やはり、写真ではなく実際の樹木を見せて説明できると良かったかなと思いました。児童たちが、興味を持った校庭にある樹木をどれだけ識別できるか、とても楽しみです。 **助川小の校庭にあるネームプレートの付いている樹木**

- サクラ・ケヤキ・プラタナス(鈴掛の木)・オトメツバキ・
- スダジイ(シイの木)・ヤナギ・ポプラ・サルスベリ(百日紅)・
- ニセアカシア(ハリエンジュ)・ローリエ(月桂樹)・ユズリハ・
- キンモクセイ(金木犀)・モクレン・コブシ・アンズ(杏)・
- トチノキ・ボケ・ザクロ・サンゴジュ



それ以外に約30種の樹木が助川小の校庭に生育しています。

文責 日立理科クラブ 特別会員 岩波 英一  
日立理科クラブ事務所 Tel/FAX 0294-24-3104